

経営比較分析表（平成29年度決算）

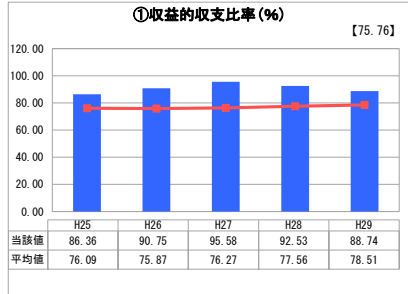
熊本県 南小国町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	該当数値なし	84.77	2,080	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
4,126	115.90	35.60
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
3,479	10.46	332.60

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
[]	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



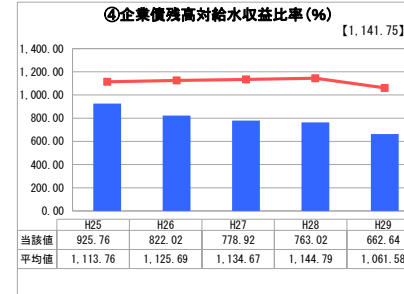
「単年度の収支」



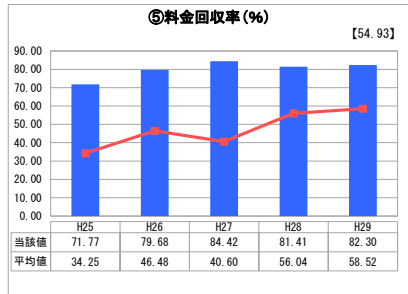
「累積欠損」



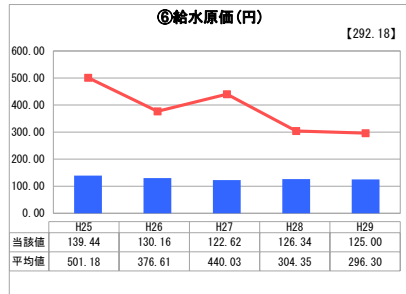
「支払能力」



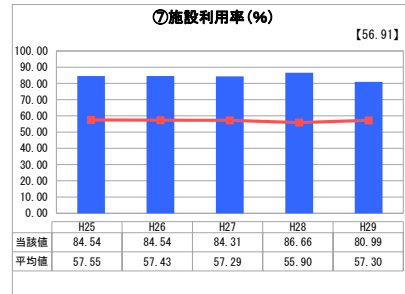
「債務残高」



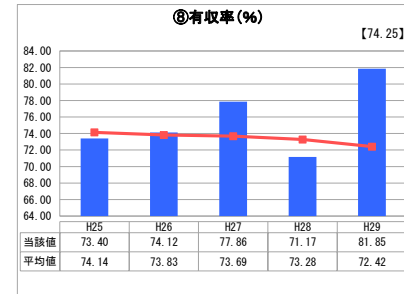
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

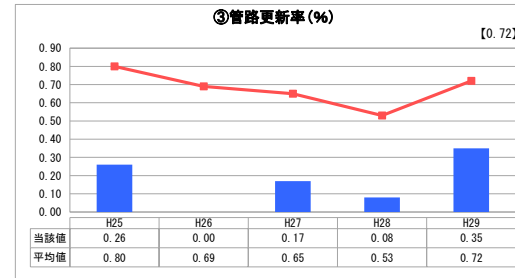
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が微減ではあるが、料金回収率は微増となっており、経営改善に向けての取組として、未収金徴収の強化による成果が出ていると思われる。ただ、施設と管路の更新計画については、老朽化を含めた現状での見直しが必要と思われる、併せて投資計画も見直ししたうえで、経営改善に向けた取組を行うことが必要と考える。

2. 老朽化の状況について

管路更新率の低さが見受けられるため、施設及び管路の更新計画を見直し、優先度の高い施設及び管路の選定や、投資計画を含めた計画見直しの検討が必要と考えられる。

全体総括

収益的収支比率は微減であるが、料金回収率については増加傾向となっており、経営改善に向けての取組の成果が出てきている。今後としては施設全般の点検等を行ったうえで、老朽化対策も含めての施設と管路の更新計画の見直しを行い総合的な基本計画の策定に取り組む必要があると考える。

経営戦略：平成31年度までに策定予定

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。